

アドバイザーをしてくれるため、初めての人でも安心して農作業に取り組めます。市内には現在10か所の市民農園があり、1区画（30平方メートル）を4千〜5千円で提供。1世帯につき2区画まで利用できます。

また、市では、市民農園を開設したい農家を募集しており、農園の運営の助言・指導を行うほか、市報などを通じて空き区画の情報を市民に提供し、利用希望者を農園へ紹介するといった、きめ細かな支援もしています。

アグリサポート事業

平成15年度に始まったアグリサポートシステム（野田市援農制度）は、農作業をしたい市民と、人手が欲しい農家の間を取り持つ制度です。

登録制で、作業内容や勤務時間、契約期間などの条件は、働く側と雇う側がそれぞれ自由に決めることができ、登録台帳を見て条件が合う相手がいいたら、直接話し合っ

園芸福祉

市が平成16年度から取り組んで

生産者である農家の人手不足を解消するとともに、消費者である市民にも、農家とのふれあいを通じて、農業への関心を高めていただくことを目指しています。

また、農家で働くことで技術に身につけ、いずれは農業に本格的に取り組みたいという、新たな農業の担い手が現れることにも期待しています。

問い合わせは農政課、または市内にあるちば県北農協の各支店へ。

いる園芸福祉は、苗の植え付けや草取りなどの農作業を通じて、障害者の機能回復と精神面の安定、また将来の就職につながる技術の習得を目指すものです。

毎年、県立野田特別支援学校近くの遊休農地約5ヘクタールを、市が農家から借り受け、障害者とボランティアら約100人が参加して、枝豆やサツマイモ、カボチャなどの栽培に取り組んでいます。

収穫した作物は、皆で調理して味わうほか、小売店の協力のもと、生の枝豆や調理品を市民に販売しています。調理品の例としては、

枝豆の塩茹で、枝豆醬油まんじゅう、枝豆梅酢おこわなどがあります。袋詰めや販売などの作業を障害者自身が担うことで、自立・自活支援にも役立っています。

遊休農地を利用することが、耕作率の回復に直接的に役立つほか、農作業を体験した人たちの中から、農業に従事してみたい人を発掘することにも効果を期待しています。

市民農園	所在地	申し込み先	
ふれあい貸農園	東宝珠花353ほか	野田市農政課 関宿支所	電話04-7125-1111 電話04-7198-1111
高林農園	関宿台町2055	高林幸雄	電話04-7196-1413
鈴木農園	関宿台町6327	鈴木文弥	電話07-7196-1409
杉の子農園	岩名1001-1	須田政治	電話04-7122-1696
近藤農園	目吹301	近藤理	電話04-7124-3689
大塚農園	山崎816	大塚倉造	電話04-7122-6676
渡野辺農園	鶴奉301-1	渡野辺信広	電話04-7122-7189
又兵衛農園	谷津254	横川みつ子	電話04-7123-3009
ふるさと農園	岩名850	須田清	電話04-7124-3910
キャロット農園	五木270	小暮勝治	電話04-7123-2239



農家で働きたい人を援農制度で橋渡し



農作業で機能回復を